



木暮 弘元議員

Q 専決処分について

議員 3億4000万円の高額予算が専決処分された、一部事務組合での事だがこの方法が正しいのか。

企画財政課長 地方自治法にのっとり行った、正しいと理解している。

議員 環境省の復興財源からの特別交付金、入金はいつか。

企画財政課長 交付税決定通知3月28日受付、2億4600万円で専決処分した。

議員 3億4000万円、何に使用したのか。

企画財政課長 専決処分分3億4600万円町に一括交付され2億4608万6000円を甘楽西部環境衛生施設組合へ出した。

議員 清掃センターの改修費か。

企画財政課長 承知してない。甘楽西部環境衛生施設組合のほうで使用している。私が答えるべきことではないと思う。

議員 清掃センターのパンフレットの22年度決算に実施実績はない、予算化は23年度からか、センター改善計画はいつからか。

町長 この内容は施設組合議会で決定している事項であり町議会では答弁できない。

議員 復興財源から特別交付金が入金された経緯を伺いたい。

企画財政課長 組合へ資料提出を求め、町で交付申請をした。

議員 震災瓦れき等の受け入れを検討した経緯について伺いたい。
町長 (答弁なし)

議員 3億4000万円の特別交付金申請はいつしたか。

企画財政課長 12月交付については9月、3月交付については12月に基礎数値を報告している。

議員 総務省への当初計画の交付申請及び、交付決定はいつか。

Q 指定廃棄物の処理について

議員 6月2日読売新聞記事、福島原発で生じた指定廃棄物処理を巡っての最終処分場建設を予定する市町村調査で「排出された県の中で処理するしかない、他県のものとは発が強いと思われる」との下仁田町のコメントは誰のものか。

健康課長 回答は手続きを踏んで、町長決裁の上で回答した。

議員 4読売群馬版掲載中で県内処理賛成19市町村に下仁田は含まれているのか。

健康課長 法律に基づき国の責任で処理する事になっており、仮に下仁田

定はいつか。

企画財政課長 決定通知は3月28日である。

議員 環境議会の開催はいつか。

町長 環境議会の案件は手元に用意がないし、別の議会ととらえている。

が候補地指定されても受け入れはできないと答えた。

議員 国、国民を挙げての復興予算づくりの中、財源を特別交付税とかけ離れた事業に使用した、これについての考えは。

町長 (答弁なし)

議員 瓦れき処理を受け入れないのに特別交付税を受けた。性格からして全額返納すべきと私は考える。瓦れきを受け入れるとして環境施設組合に町経由で金が入ったような話が聞こえたので、私は

国の会計検査院の検査が入るのではと危惧したので質問をした。

町長 (答弁なし)
議員 次に、職員の給与カットと交付税関連については町職員は復興に協力したいと特段の努力、協力をいたいただいた事に感謝する。



汚染土仮置場

Q 放射能の対策、除染対策の取り組みについて

議員 この事業推進に住民が不信心を持たぬよう説明責任を果たし実施できるように切望する。私の調査と差異があるが今回はあえて指摘しない。